

学校・職場・社会で「てんかん」への理解を深めるシンポジウム



てんかんは脳の神経が一時的に過剰に活動して発作症状を繰り返す慢性の病気で、患者数は全国で約100万人と推定*され、その70%は適切な治療で発作を抑えて普通の生活を営んでいます。このシンポジウムでは、「てんかん治療」の第一線で活躍する医師の話聞き、適切な診断・治療と必要なケアについて学びます。

*日本におけるてんかんの実態 日本てんかん患者数の推定、てんかん研究27巻3号:408-411、2010

受講者募集

参加費無料!
先着120名様



日時: **2018年10月14日(日)**
10:00~12:00 (開場 9:30)

会場: 河北新報社 1階ホール
宮城県仙台市青葉区五橋1-2-28 (「仙台駅」西口から徒歩10分)

◆プログラム

10:00~10:10 開会ご挨拶 中里 信和先生 (東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 教授)

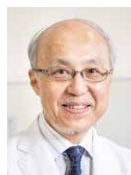
10:10~10:40 「**知って安心、てんかん発作のいろいろ**」
神 一敬先生 (東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 准教授)

休憩15分

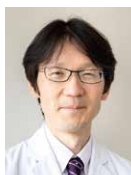
10:55~11:25 「**知って安心、てんかんと就労**」
加藤 量広先生 (石巻赤十字病院 神経内科 副部長)

11:25~11:40 **てんかんQ&A** (来場者様の事前質問に答えるコーナー)

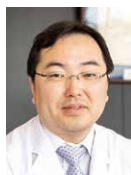
11:40~11:45 閉会の挨拶



中里 信和先生



神 一敬先生



加藤 量広先生

共催: 河北新報社、神経内科フォーラム、グラクソ・スミスクライン株式会社

後援: 公益社団法人 日本てんかん協会、一般社団法人 日本家族計画協会

協力: 一般社団法人 日本てんかん学会、一般社団法人 日本神経学会

[参加申し込み方法] 下記URLから、もしくは裏面の申し込み用紙に必要な事項をご記入のうえ、ファックスまたは郵送にてお申し込みください。「てんかん シンポジウム」でも検索頂けます。

<http://www.tenkan-seminar.com/>

お名前・ご住所・お電話番号・年齢・性別・ご同伴者氏名(フルネーム記載、最大3名様可)・車イスで来場される方は台数をご記入の上、FAXまたは郵送でお申し込みください。ホームページからお申し込みいただけます。先着順で参加証を郵送しますのでお間違いのないようご記入ください。 ※参加証をお持ちでないと入場できません。

参加申し込み用紙

お名前 (ふりがな)	性別 男・女	
	年齢 才	
ご住所 (先着順で参加証を郵送しますのでお間違いのないようご記入ください) 〒		
お電話番号		
ご同伴者様氏名 (最大3名様まで可能です) 車イスで来場される方は台数を記入ください (台)		
1	2	3
てんかんについて講師の先生方にご質問があればセミナーで活用させていただきますので ご記入ください。 (時間の都合上、事務局で回答する質問を選ばさせていただきます。 全ての質問にご回答できるわけではない旨、ご了承ください)		

参加申し込み用紙送付先

[宛先] 医療セミナー事務局 ※宛先を正確にお書きください。記載がなかったり、違っている場合は届かないことがあります。
ファックスの場合 FAX 03-6893-3931
郵送の場合 〒107-0062 東京都港区南青山 2-2-15-942
〔セミナー名〕 学校・職場・社会で「てんかん」への理解を深めるシンポジウム
日時: 2018年10月14日(日) 10:00~12:00 (開場 9:30)
会場: 河北新報社 1階ホール 宮城県仙台市青葉区五橋1-2-28 (「仙台駅」西口から徒歩10分)
【お問い合わせ先】 TEL 03-6403-4693 (月~金/平日のみ 7:00~9:00 14:00~16:00)
【締め切り】 10月8日(月)必着(先着順で定員になり次第締め切らせていただきます)

※個人情報は厳重に管理し、本セミナーの案内状の発送以外の目的では使用いたしません。

共催: 河北新報社、神経内科フォーラム、グラクソ・スミスクライン株式会社
後援: 公益社団法人 日本てんかん協会、一般社団法人 日本家族計画協会
協力: 一般社団法人 日本てんかん学会、一般社団法人 日本神経学会